

国に意見書を提出

■垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの米軍普天間飛行場への配備および飛行訓練計画の撤回を求める意見書（抜粋）

オスプレイは、これまで開発段階から墜落死亡事故が多発。「世界一危険」な普天間基地に、欠陥機と言われるオスプレイを配備すれば、危険度を高めることとなる。墜落の危険と隣り合わせの生活を強いられている沖縄県民が、不安を大きくするるのは当然である。

さらに、アメリカの「環境審査報告書」によると、東北地方に2本、北信越、近畿・四国、九州、沖縄奄美に各1本、合計6本のオスプレイ用低空飛行訓練ルートがつくられる。沖縄への配備は、オスプレイの被害を全国に広げるものである。

よって、本町議会は沖縄県民及び全国民の生命と財産、日常生活の安全と安心を守る立場から、日米両国政府に怒りを込めて抗議するとともに、国会及び政府に対し、危険きわまりないオスプレイの米軍普天間飛行場への配備と飛行訓練計画の撤回を強く求めるものである。

町民からの請願採択

■食品の放射能測定器購入を求める請願（抜粋）

〈提出者〉

子どもの未来を考える会

昨年3月の原発事故により、今も放射性物質による汚染が続いている。富士見町の給食食材の測定器は、検出限界が概ね40ベクレル/kgと高く、表面汚染を測定する機種です。食品を測定するにはシンチレーションと言われる測定器の使用が望ましいと考えますので、次の事項を要望します。

- ①食品の放射能測定器を購入してください。

- ②①の購入にあたっては、性能を考慮し、専門家の意見なども参考にして、高性能の機種を選んでください。

- ③給食食材の測定にあたっては、既に全国で野菜・果物・牛乳・肉・魚・小麦などの食品汚染が報告されることをふまえ、富士見町でも使用食材全般の測定を行つてください。

●反対（小池勇）

新たに高性能の放射能測定器を追加購入する必要性を感じない。

○賛成（佐久祐司）

富士見町の測定器は食材を測る専用のものではない。大手生協の調査で学校給食の食材の放射能測定を求める人は87%、多くの保護者が正しい測定を望んでいる。

●反対（五味平一）

放射性物質の危険性は理解できる。しかし他の自治体の検査では検出されていない。ないよりはあつた方が良いといふ議論では反対する。

○賛成（宮下伸悟）

内部被ばくの危険性に^{しきい}値はなく、放射性物質の感受性の高い子どもたちの安全を守るために経費として高いものではない。

○賛成（小林市子）

富士見町で安心して子育てが出来る環境をつくるべき。

●反対（三井新成）

子どもたちの食の安全を守ることは、行政と保護者の責任。行政だけが測定をしても子どもたちを守れない。請願の内容は具体性が乏しい。もっと時間をかけて話し合うべき。

〈賛成多数で採択〉

〔請願・陳情〕

採決結果（議案抜粋）

○賛成 ●反対

議会	議案	議員名									
		三井新成	小池勇	五味平一	小林市子	宮下伸悟	小池博之	佐久祐司	加々見保樹	名取武一	
9月定例会	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○
	平成24年度富士見町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度富士見町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●
	平成23年度富士見町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度富士見町観光施設貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

上記の他 17 議案については、全会一致で承認・可決・認定しました。